

平成 28 年 5 月 13 日



各 位

会社名 日産東京販売ホールディングス株式会社
代表者 取締役社長 酒 井 信 也
(コード番号 8291 東証第一部)
問合せ先 執行役員 米 澤 領 一
(TEL. 03 - 5496 - 5203)

連結業績予想との差異及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の通期の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じました。また、期末配当予想について、下記のとおり修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 連結業績予想との差異

(1) 平成 28 年 3 月期 通期連結業績予想と実績値との差異（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）
(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	145,000	4,100	3,500	2,500	円 銭 37 68
今回実績値 (B)	145,807	4,219	3,602	3,392	円 銭 51 14
増 減 額 (B-A)	+807	+119	+102	+892	—
増 減 率 (%)	+0.6%	+2.9%	+2.9%	+35.7%	—
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 27 年 3 月期)	144,204	4,080	3,534	5,195	円 銭 78 34

(2) 差異が生じた理由

当社は、北米日産における販売店網再編計画に協力し、当連結会計年度において在外子会社（カナダ国）の事業を譲渡いたしました。

これに伴い、当期連結財務諸表において 866 百万円の特別利益を計上し、親会社株主に帰属する当期純利益が予想値を上回りました。なお、本件での取得資金は国内の自動車販売事業に投入し、首都圏を中心に規模の拡大を目指してまいります。

また、売上高・営業利益・経常利益につきましても、新車販売は前年を下回りましたが、中古車部門・整備部門が好調に推移した結果、予想値を上回る結果となりました。

詳細は、本日公表しております「平成 28 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

2. 配当予想の修正

(1) 平成 28 年 3 月期 配当予想の修正

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 4.00	円 銭 4.00
今回修正予想	—	0.00	—	7.00	7.00
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	—	0.00	—	4.00	4.00

(2) 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆さまへの利益還元を行うことを経営の重要課題のひとつと認識し、成長性を確保するための内部留保にも考慮しながら、安定的な配当を行うことを基本方針としております。

平成 28 年 3 月期の連結業績及び平成 23 年度以降の過去 5 年間の連結業績を勘案し、安定した収益体質が確立し、財務体質が強固になったものと判断することから、平成 28 年 3 月期の期末配当予想を、当初予想から 3 円増配し、1 株当たり配当金を 7 円とすることといたします。

なお、本件は、平成 28 年 6 月開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

以 上